



2019-8-2
No.19-058

報道関係各位

「メットライフドームエリアの改修計画」 2020 シーズン稼働の観客席改修内容が決定！ ～内野エリア・外周エリア・バックネット裏エリアに新シートが誕生～

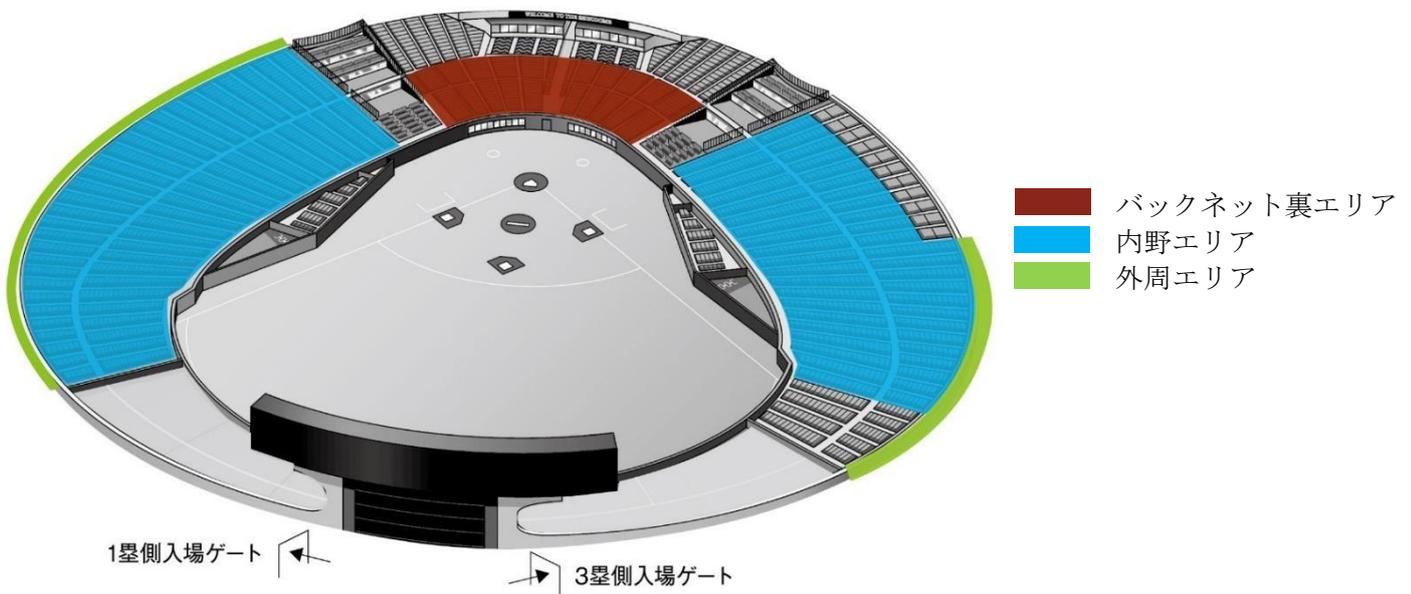
株式会社西武ライオンズ(本社:埼玉県所沢市、代表取締役社長:居郷 肇)は、2017年11月15日にメットライフドームエリアの改修計画について発表しましたとおり、2019、2020 シーズンオフの二期に分けて観客席の改修を進めてまいります。今般、2020 シーズンから稼働するエリア・シートが決定しましたのでお知らせします。

2020 シーズンから生まれ変わるエリアは、内野、外周、バックネット裏の3つのエリアで、各エリアとも新シートを導入します。

今回の観客席改修においては、多様化する観戦スタイルに対応する新しい価値をご提供すること、長時間の野球観戦でも快適にご観戦していただけることをテーマに検討し設計しました。また、これまでの座席エリア・区分は、今般の改修により刷新し、新たなエリア・区分として設定します。

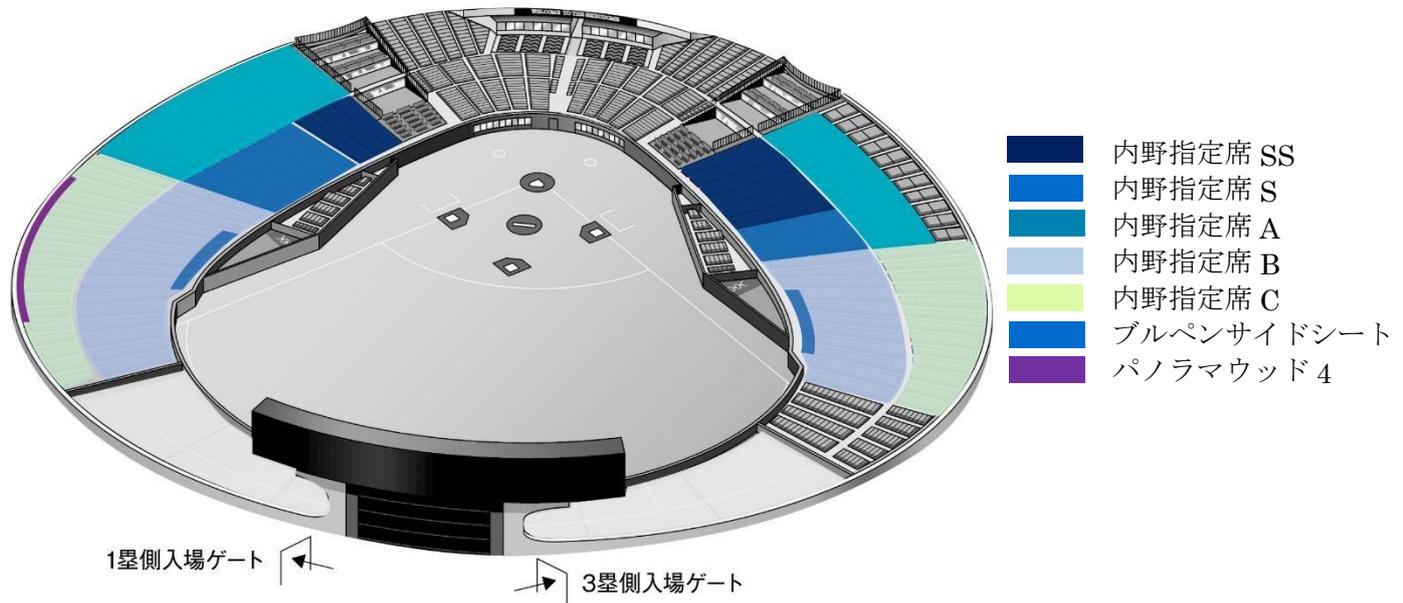
なお、各シートの価格については、決定し次第発表します。
詳細は、以下のとおりです。

○2020 シーズン稼働エリア(俯瞰図)



1. 内野エリア(一部除く)

～新しく「パノラマウッド 4」が誕生～内野エリアは内野指定席を 5 席種、ブルペンサイドシートを 1 席種、そして 1 塁側内野指定席の上段には新席種として「パノラマウッド 4」というグループ席が誕生します。



内野エリア内の座席名称図

(1) 内野指定席 SS、内野指定席 S、内野指定席 A、内野指定席 B、内野指定席 C、ブルペンサイドシート (合計 16,548 席)

～全座席クッション付きシートにリニューアル～西武ライオンズ球場完成時に日本初導入した MLB (メジャーリーグベースボール) で導入されている AMERICAN SEATING (現 IRWIN) 社製のシートを今回も継続して採用します。通路側のシートには、現在のシートと同様に「レオマーク」を施し、歴史を継承します。厚さ 80mm のクッションを全席に採用し、長時間の観戦でも快適にご利用いただけます。

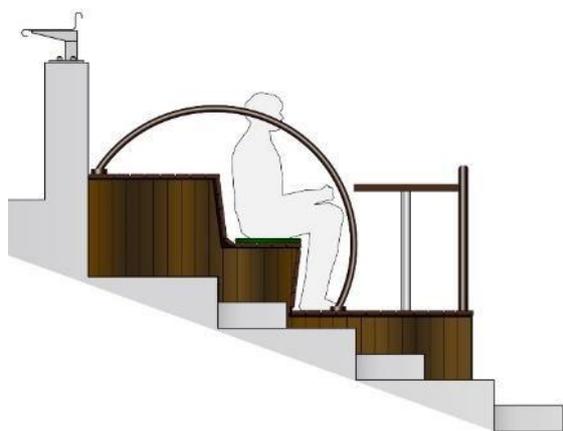


内野指定席

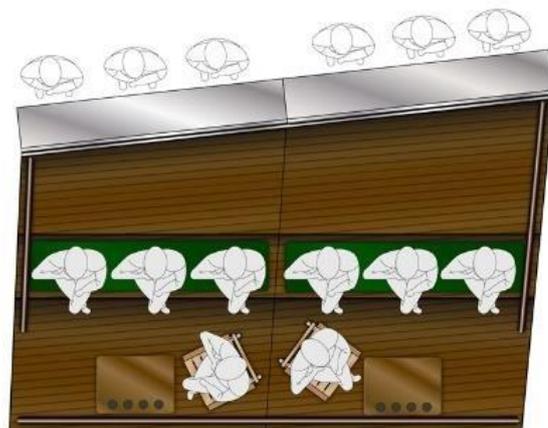
(2) 「パノラマウッド 4」(定員:4名まで、22ブロック、合計 88席)

～グループでお楽しみいただける「パノラマウッド 4」を新設～

「パノラマウッド 4」は、ウッドデッキとベンチが一体となったデザインで、球場全体を見渡しながら、ご家族やご友人とともに野球観戦をお楽しみいただけるグループシートです。ブロックによってはシート上部には広いスペースを設けており、胡坐をかいて座ったり、荷物を置いたり自由なスタイルでご利用いただけます。



パノラマウッド 4(横から見たイメージ)

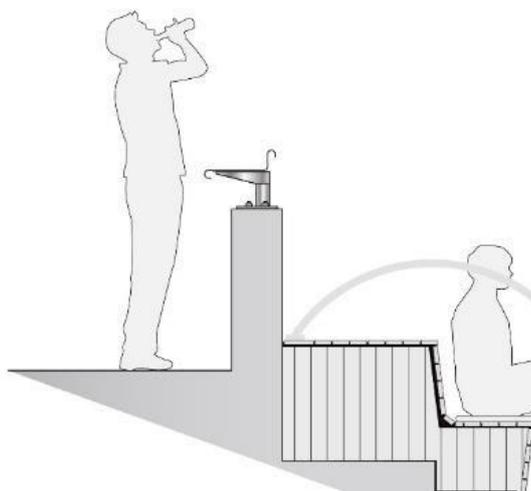


パノラマウッド 4(上から見たイメージ)

2. 外周エリア(計 257席)

～お一人さまでもカジュアルにご観戦いただける「ステンレスカウンター」を新設～

「ステンレスカウンター」(立見、定員:1名、合計 257席) 球場が見渡せるロケーションを活かし外周エリアにカウンター付立見席を新設します。フードやドリンクを置くことができるカウンターを新たに設け、立見席としての利便性が向上します。外周売店などの周辺施設へのアクセスも良く、自由にカジュアルにご観戦いただけます。

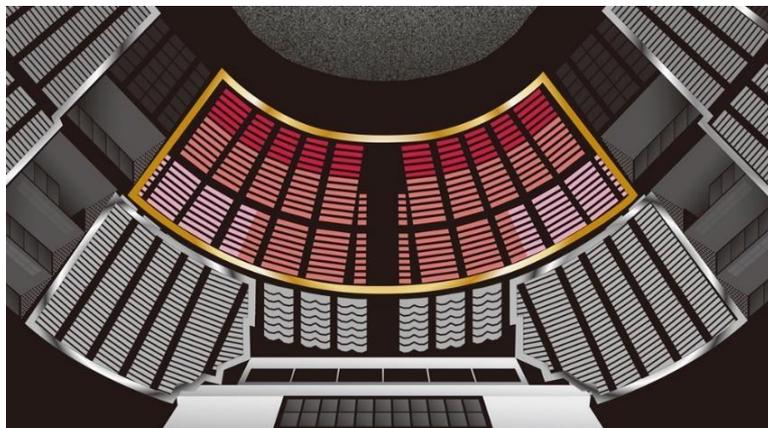


ステンレスカウンター(横から見たイメージ)

3. バックネット裏エリア(計 1,426 席)

～バックネット裏エリアには最上級の観戦体験をご提供する「プレミアムシート S」などの 3 席種を新設～試合の緊張感と迫力を最上級の空間で体感できるバックネット裏エリアは、現在のボックスシートエリアから左右にエリアを拡大し、プレミアムな観戦体験をお約束するラグジュアリーなシートの「プレミアムシート S」「プレミアムシート A」「ネット裏エグゼクティブシート」の 3 席種を新設します。全席をブラックで統一し、蒸れにくい高い透湿性と本革に近い質感を合わせ持つ、高品質な新素材の合成皮革を採用しました。

○バックネット裏エリア MAP



プレミアムシート S



プレミアムシート A



ネット裏エグゼクティブシート

※いずれのシートもイメージです

(1) 「プレミアムシート S」(計 192 席)

～バックネット裏エリアではもっともグラウンドに近い位置に設置～バックネット裏最前列エリアに新設します。バックネット裏エリアではもっともグラウンドに近い場所で緊張感と迫力を体感していただけます。QUINETTE GALLEY(キネット・ギャレイ)社製(※1)のシートを NPB 球団として初めて採用しました。長時間座っていても疲れにくい劇場用のシートに、ミニテーブルと荷物収納スペースも完備し、これまでにないゆったりとくつろいだ観戦をご提供します。プロ野球史上最高を目指して製作したスペシャルモデルです。2021 シーズンから、スタンド下の空間に完成する「プレミアムラウンジ」をご利用いただけます。

(※1)フランスに拠点を置く、オペラ座をはじめ世界中の劇場で実績のあるシートメーカー

(2) 「プレミアムシートA」(計 838 席)

～2、3、4人掛けのシートをご用意～上記プレミアムシートSと同様に、QUINETTE GALLEY(キネット・ギャレイ)社製のシートを採用。バックネット裏中段エリアの広範囲に設置し、2、3、4人掛けのシートをそれぞれご用意します。

座席間にある可動肘を跳ね上げると、凹凸の比較的少ない座面を採用したことでより広いスペースを確保することができます。

2021 シーズンから、スタンド下の空間に完成する「プレミアムラウンジ」をご利用いただけます。

(3) 「ネット裏エグゼクティブシート」(計 400 席)

～シングルシートとして最高レベルの座り心地を実現～上記プレミアムシートA 上段席の両サイドに設置します。臨場感と共に、ダグアウトの雰囲気も垣間見ることができます。シートは、モールドウレタンを採用し、ホールド感と快適性を両立した特別仕様のプレミアムシートです。シングルシートとして最高レベルの座り心地を実現しました。

※バックネット裏 BOX シート後列(中通路より上段)は、2020 シーズンでのシート仕様変更はございません。

※内野、外周、バックネット裏エリアの座席の数はいずれも完成時点において変更になる場合があります。

○担当者(事業部長 井上 純一)コメント

ここ4年間メットライフドームの観客動員数が順調に推移しており大変ありがたく思っております。一方でスタジアム内の座席についてさまざまなご意見をいただいております。観戦環境のストレスを少なくするスタジアムを目指したいという想いが強くありました。

今回のシート改修では、多くのお客さまの声を参考に、バックネット裏エリアの高額席はよりラグジュアリーな環境を提供し、内野エリアのグループ席はスタジアムならではの臨場感や応援の一体感を肌で感じられるように、外周エリアは、さらに大きな声を出して応援したくなるような空間を検討させていただきました。

この改修をきっかけに、またひとりでも多くのお客さまに足を運んでいただき、埼玉西武ライオンズのファンになっていただければ幸いです。

○埼玉西武ライオンズ 監督 辻 発彦コメント

いつもご声援いただきありがとうございます。

2020 シーズンからメットライフドームに、より楽しく、快適にご観戦いただけるシートが整うとのことで、私も大変うれしく思います。内野席はクッションシートにリニューアルすることなので、老若男女問わずリラックスしてご観戦いただけるのではないかと期待しています。感動や熱狂の瞬間をぜひ、新しいシートで味わっていただきこれまで以上に大きな声援をいただけたら幸いです。少し気は早いですが、新しいメットライフドームを楽しみにしていきましょう。

【参考】メットライフドームエリアその他の改修計画概要

(1)ライオンズトレーニングセンター(室内練習場)

＜2019年7月9日稼働開始＞約40年ぶりに生まれ変わった室内練習場は12球団最大級の広さを誇ります。内野フィールドエリアは、内寸50m×50mの広さを確保。メットライフドームと同様のミズノ社製の人工芝「MS Craft Baseball Turf」を採用し、試合と同様の環境下で練習が可能になりました。ブルペンは5レーン、バッティングは4レーンの専用ゾーンを設置し、複数の選手が同時に練習することが可能な設備となっています。



(2)若獅子寮

＜2019年7月9日稼働開始＞

全4階層からなる若獅子寮は、野球に集中する環境を整えました。1階は、ライオンズトレーニングセンターと内部でつながっており、「トレーニングルーム」として選手のフィジカル面の強化を図ります。2階には監督室やミーティングルーム、所属選手全員のロッカーを用意した選手ロッカールームを設置。3階は、食堂やミーティングルームを完備。4階は選手居住エリアで28室の部屋数を設けました。



(3)ライオンズチームストアフラッグス

＜2019年7月15日グランドオープン＞

2階層、600㎡超を誇る大型旗艦店。駅からメットライフドームへの主導線上に位置することでアクセスが格段に良くなりました。ストアのガラス面には、透過性LEDガラス「G-Smatt GLASS」を2面装備し、オリジナル映像の放映や、イベントに合わせたデジタルデコレーションが変幻自在に移り変わる未来的な外観にデザインしました。



(4)西武ライオンズオフィス棟

＜2019年7月24日稼働開始＞

全3階層からなる西武ライオンズオフィス棟は、1階がミーティング、接遇をするエリアとなり、各時代のチームカラーを配した諸室、メモリアルな写真展示など趣向を凝らしたものとなりました。2階、3階は当社従業員の執務エリアとなっています。



上記(1)～(4)は、改修工事が完了し、すでに稼働が開始しているもので、次頁の(5)～(14)は今後の計画です。なお、今回、発表しました2020シーズンのシート概要(新設・リニューアル)は、(10)、(11)の一部で、2020シーズンオフには、2021シーズンに向けてシートのリニューアルを引き続き、進めていきます。

(5)西武第二球場スタンドの新設
バックネット裏に約 200 席を設置

(6)室内練習場、若獅子寮跡に
サブグラウンド、ブルペン新設
練習環境を拡大整備

(7)ドーム前広場の刷新
ドーム正面に新たな施設の顔として入場ゲートを設置

(8)3 塁側外周エリアの拡張・改修/
獅子ビルリノベーション
コンコースと獅子ビルの上にデッキを設置し、開放的な空間
を創出。
獅子ビル内には、屋内キッズパークとフードエリアを常設

(9)メットライフドームにこども広場を設置
メットライフドーム 3 塁側に
約 1,000 m²の屋外こども広場を設置

(10)メットライフドーム観客席の全面改修
多様化する観戦スタイルに応え、新たな座席、エリアを提案

(11)メットライフドームのバックネット裏、
BOX シートの大規模改修
12 球団最大級、約 430 名収容のバックネット裏プレミアム
ラウンジを新設するほか、最前列には、砂かぶり席を設置

(12)メットライフドーム大型ビジョン/
音響/照明設備の刷新
エンターテインメント性と臨場感にあふれる演出を実現

(13)メットライフドームの暑さ対策
夏場の暑さ対策として、グラウンドレベルにおいては、
1、3 塁側のダグアウトに空調ダクトを新たに通し、冷気を
グラウンド内に運びます

(14)スマートスタジアム化の加速
スマホチケットの利便性向上など

※当社では、「共に強く。共に熱く。」の事業ビジョンのもと、引き続き、メットライフドームの改修を進めていきますが、すべての施設が竣工するのは 2021 年の 3 月の予定です。

【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL. (0570)01-1950(平日 10 時~18 時)



上から西武第二球場・サブグラウンド・ブルペン、ドーム前広場、3 塁側外周エリア、プレミアムラウンジの完成予想図